

在校生のみなさんへ

2025 年度『学修時間・教育の成果等に関する調査』の結果について

「東京経済大学 IR 推進委員会」は、教員と学生関係部署の職員から構成され、大学内のさまざまな情報を収集・分析し、その結果を教育・研究、学生支援等に活用する IR(インスティテューショナル・リサーチ)活動を行っています。

本学の教員は、より教育効果を高めるための工夫・努力を続けていますが、みなさんの学修の状況や成果を知り、その参考とするために、本調査を今年も実施しました。このたび、調査結果がまとまりましたので、過去の結果とも比較し、その概要をご報告いたします。

学生のみなさんには学期末の繁忙期にもかかわらず、回答にご協力をいただき、大変感謝しております。

本学の「全学のディプロマ・ポリシー(全学 DP)」に定められた学修目標の到達度について、各自が自己評価の参考にしてください。自由記述項目で寄せられたみなさんの声もあわせて、今後の教学改革や学生支援に活かしていきます。ありがとうございました。

1、調査の実施概要

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2021 年度	2022年度	2023年度	2024 年度	2025 年度
調査期間	2017.7.18～ 2017.8.13	2018.7.2～ 2018.7.31	2019.7.1～ 2019.7.31	2021.7.16～ 2021.8.16	2022.7.19～ 2022.8.16	2023.7.18～ 2023.8.16	2024.7.16～ 2024.8.18	2025.7.8～ 2025.8.17
全体回答者数 (回答率)	871名 (12.9%)	890名 (13.3%)	701名 (10.5%)	1,109 名 (16.9%)	561 名 (8.6%)	418名 (6.2%)	431 名 (6.4%)	477 名 (7.0%)
1 年生回答率	20.9%	27.9%	23.2%	26.9%	16.2%	12.8%	14.6%	15.0%
2 年生回答率	14.5%	10.4%	10.3%	23.3%	9.1%	5.6%	5.5%	7.2%
3 年生回答率	12.2%	10.4%	7.5%	12.1%	7.0%	3.7%	4.0%	4.6%
4 年生回答率	5.9%	5.4%	3.0%	7.4%	2.6%	2.7%	2.2%	2.1%
留年生回答率	1.6%	2.6%	1.3%	2.3%	0.5%	0.6%	0.0%	0.0%
E 学部回答率	11.9%	10.7%	8.9%	16.3%	9.0%	5.7%	5.2%	6.1%
B 学部回答率	15.4%	17.6%	12.8%	18.6%	9.1%	6.1%	6.2%	8.8%
C 学部回答率	13.2%	11.7%	9.1%	12.6%	6.6%	5.5%	6.8%	4.9%
L 学部回答率	9.6%	10.7%	9.6%	18.6%	8.5%	8.2%	8.6%	6.8%
CDP 回答率	10.0%	14.0%	20.9%	16.1%	5.8%	6.8%	11.8%	9.3%

質問項目	①最近1週間における平均的な時間の使い方(学修時間の把握) ●出席授業科目数、●授業時間以外の授業に関する予習・復習・課題学習時間、 ●授業とは直接関係のない個人的興味による自主的学習時間、●資格取得受験勉強時間、●アルバイト時間、 ●サークル活動時間、●社会活動(ボランティア等)時間、●インターンシップ・就職活動時間 ②実際に受講し、その結果、実力がついたと思う科目群 ③学習成果・到達度自己評価(全学のディプロマ・ポリシーの修得度)
回答率の傾向	アンケート開始からの経年変化を見るため毎年同様の調査内容で行っていました。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で調査を中止し、2021年度はコロナ禍での新たな学生生活スタイルが定着する中、遠隔授業をテーマにリニューアルして再開したところ、関心が高まり回答数も大幅に増加しました。しかし、2022年度の回答率は大きく減少しました。2023年度以降は設問数を減らし回答率向上を図りましたが、コロナ禍以前の回答率には及んでいません。今年度の回答率及び回答数については、回答依頼のお知らせをポータルサイトに複数回配信した結果、昨年度よりわずかながら増加しました。但し、調査結果の信頼性には課題が残るため、今後は回答者数増加に向け更なる改善が必要と考えられます。

2、調査結果について

1)最近1週間の平均的な時間の使い方

2021年度はほぼ全ての授業が遠隔授業で行われましたが、2022年度からは対面授業が主となりました。授業実施形態が戻りつつある現在において、全体の傾向をコロナ禍前(2017～2019年度)とコロナ禍後(2022～2025 年度)で比較します。回答率はコロナ禍前が 10%台～19%台、コロナ禍後が 6%台～8%台となっています。

(1)「最近1週間の出席授業科目数」
コロナ禍前は約70%から80%の学生がほぼ履修登録どおりに出席している一方で、約10%の学生は1年生から「3科目以下」出席と厳しい状況にありました。コロナ禍以降、1、2 年生の「3科目以下」出席の割合が大幅に減少し、「7～9科目」「10科目以上」出席の割合は 9 割以上で推移しています。また、今年度は 3 年生も「7～9科目」以上出席している学生が 8 割を超える結果となりました。

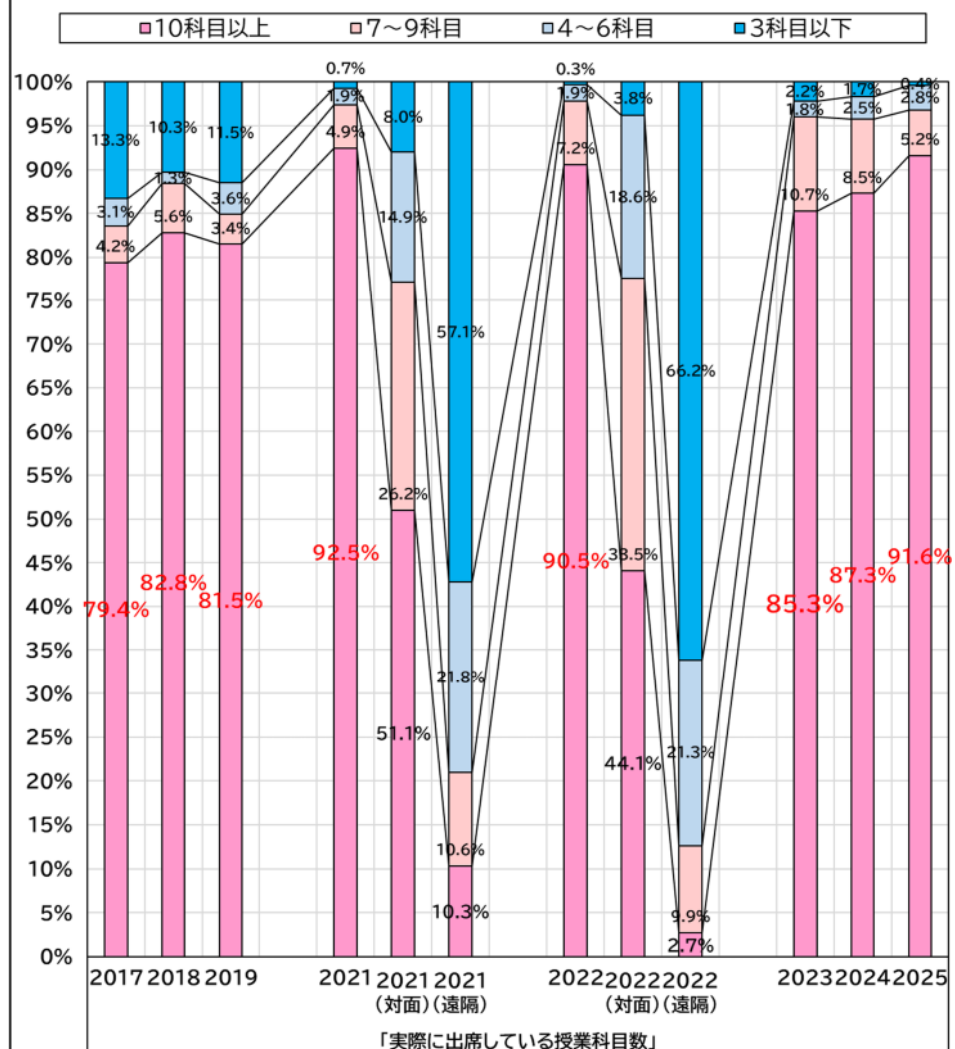
(2)最近1週間の各活動時間

- ① 「授業受講時間以外の授業に関する学習時間」は、「10時間以上」学習している割合がコロナ禍前より高い傾向がありますが、近年は全学年において減少傾向にあります。
- ② 「個人的趣味による自主学習時間」は、全学年でコロナ禍前より増加傾向にあります。
- ③ 「資格取得のための学習時間」は2年生で増加傾向にあり、就職活動に向けて学習していることが推察されます。
- ④ 「アルバイト時間」は学年によって異なる傾向があり、2、3年生がやや長い傾向を持ちます。
- ⑤ 「サークル活動時間」は増加傾向にはあるものの、まだコロナ禍前の水準には戻っていない状況です。

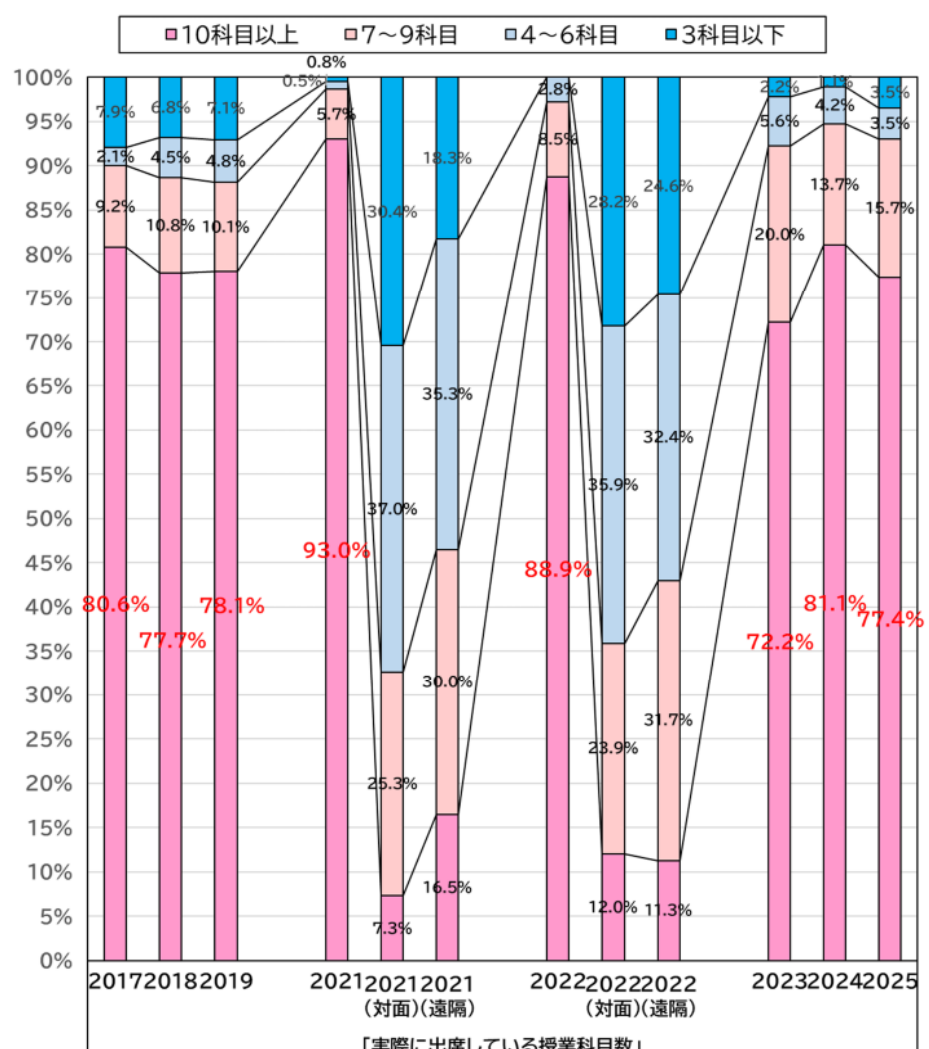
(1)最近1週間の出席授業科目数

*最近の1週間:2025.6.30~2025.7.6

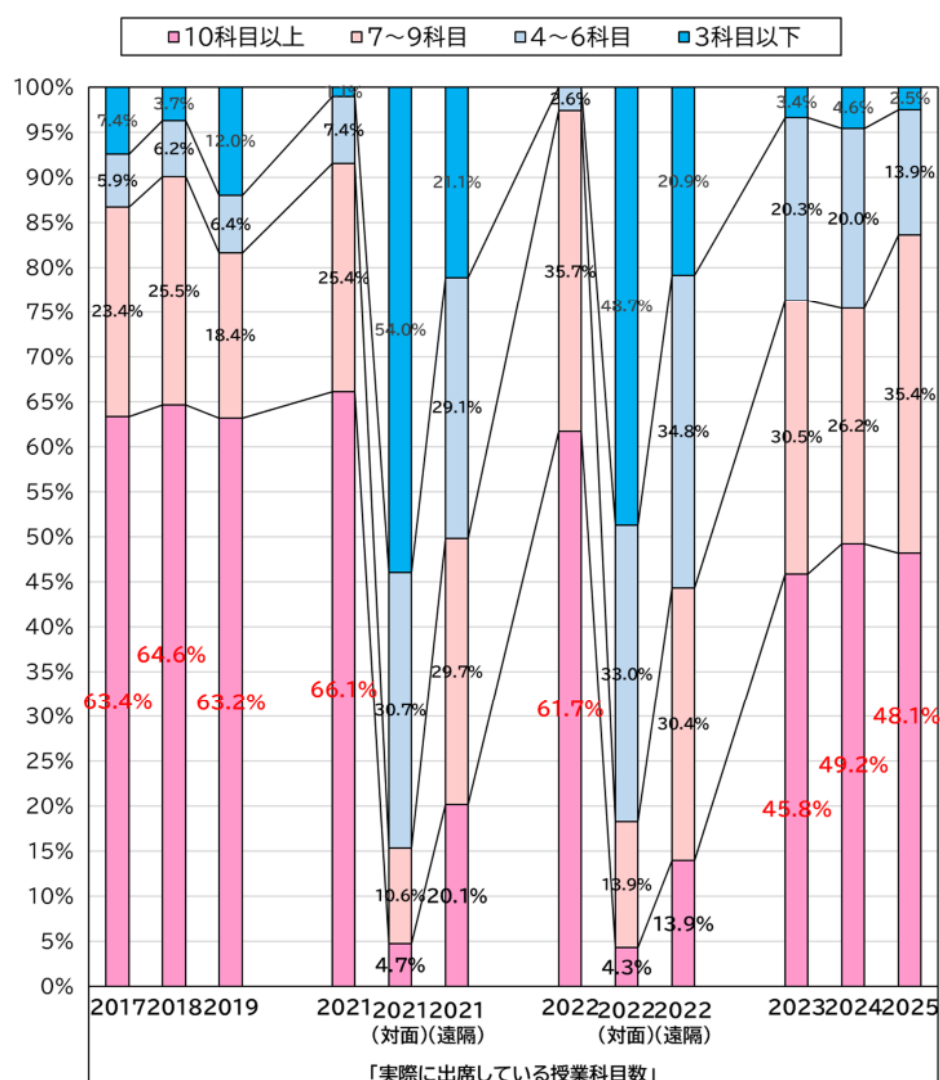
最近1週間における「出席授業科目数」
(1年生)



最近1週間における「出席授業科目数」
(2年生)

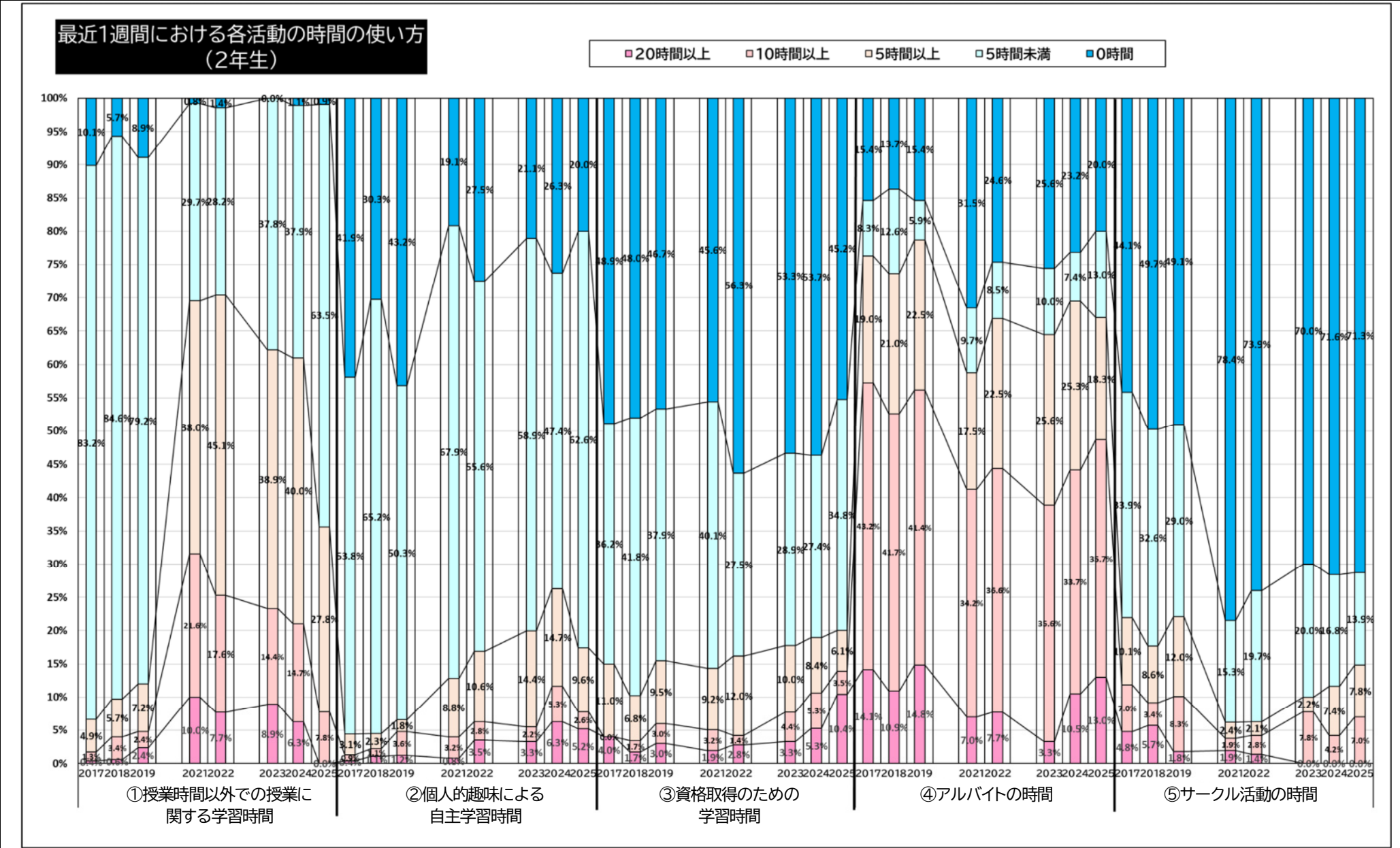
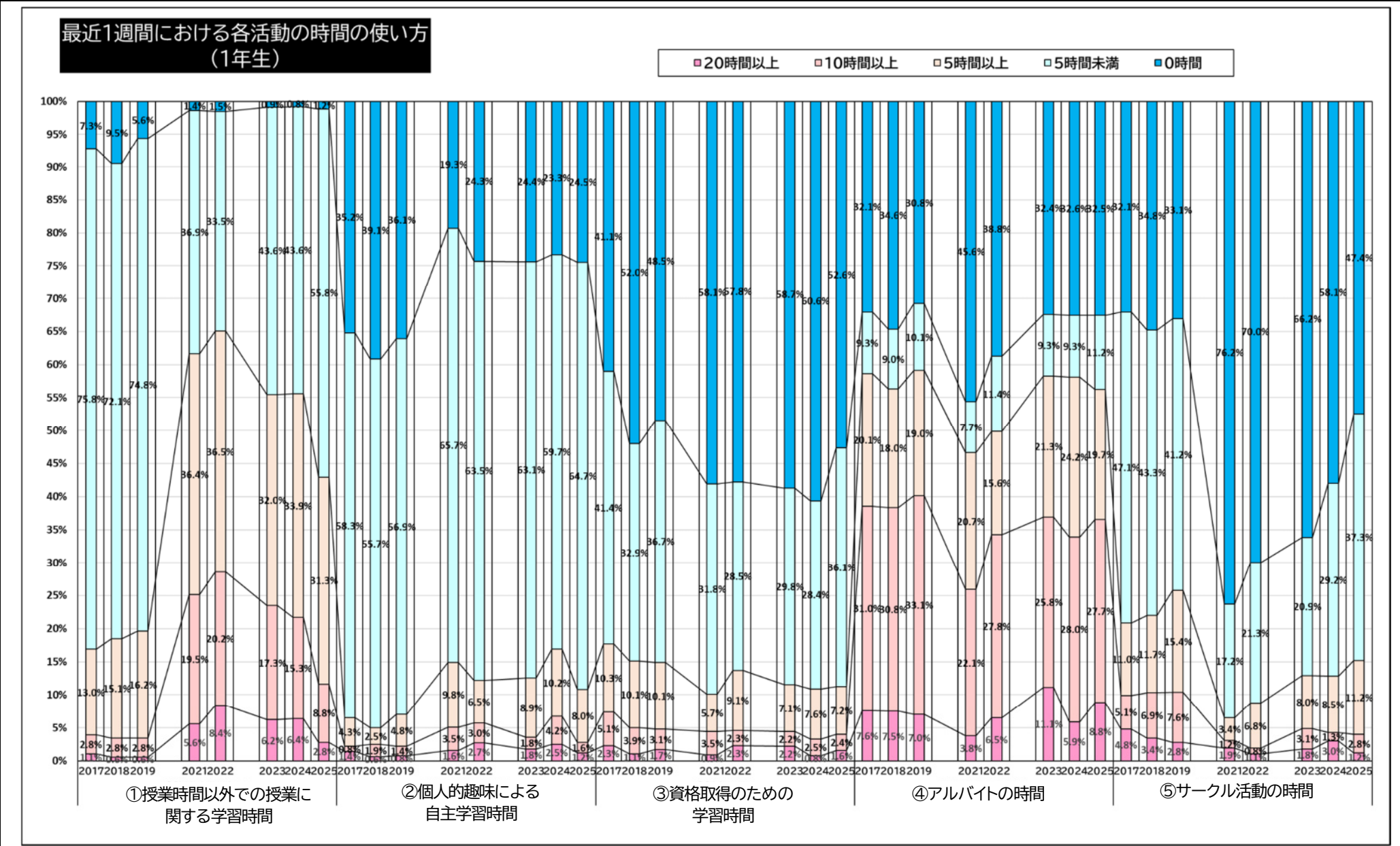


最近1週間における「出席授業科目数」
(3年生)

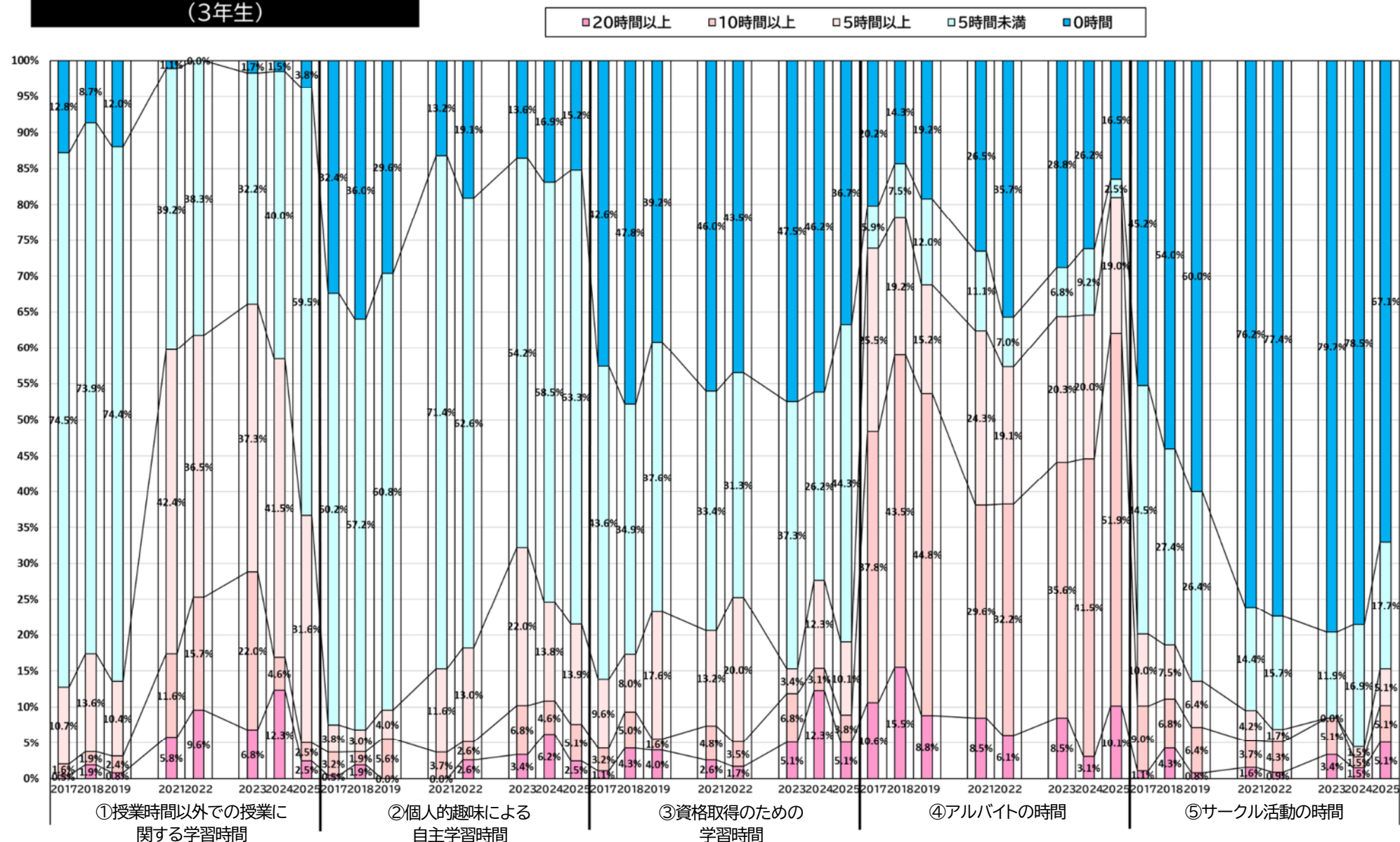


(2)最近1週間の各活動時間

*最近の1週間:2025. 6. 30~2025.7. 6



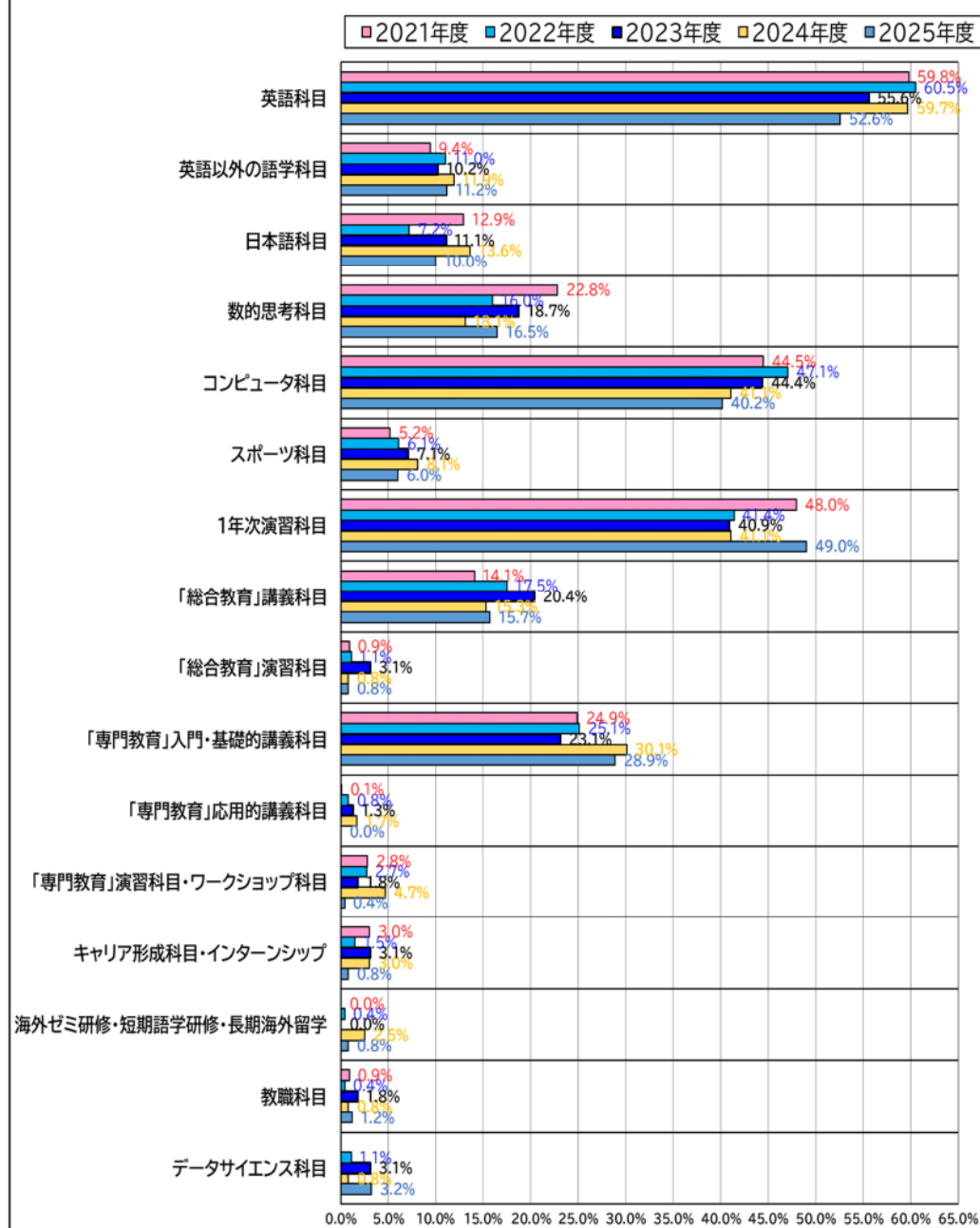
最近1週間における各活動の時間の使い方
(3年生)



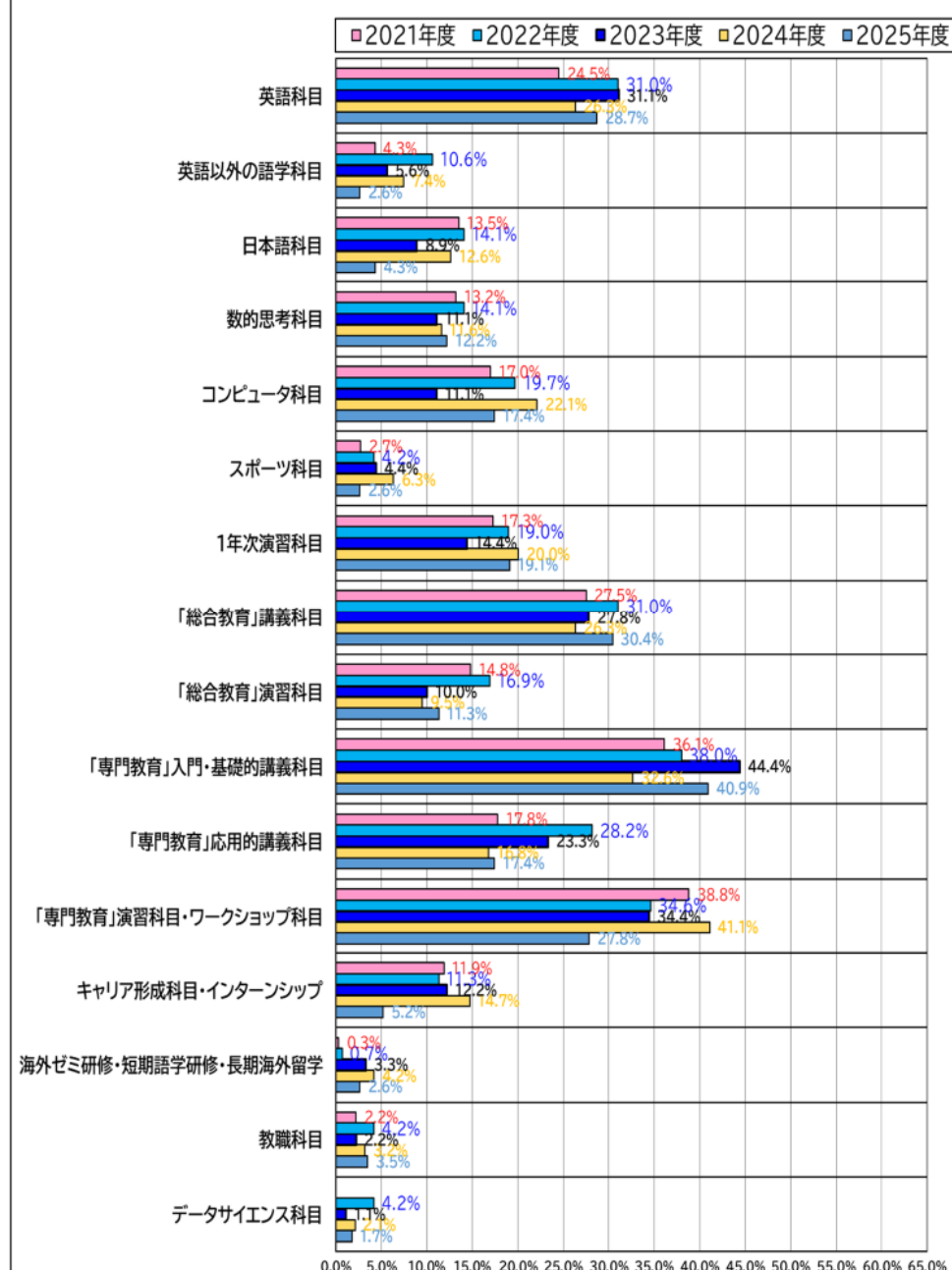
2)「本学の授業で受講し、その結果、実力がついたと思う科目群」

- ① 1年生は「英語科目」や「コンピュータ科目」について実力がついたと回答する学生の割合が直近5年間で最低となりました。一方、「1年次演習科目」や「専門教育入門・基礎的講義科目」について実力がついたと感じる学生の割合は高くなりました。
- ② 2年生は前年度と比較すると、「専門教育演習科目・ワークショップ科目」で実力がついたと回答した学生の割合が大幅に減少しました。
- ③ 3年生は「専門教育演習科目・ワークショップ科目」が昨年度より増加しました。これは、2024年度の2年生で高い割合であった科目であり、2年生で実力がついたと感じた学生が、3年生になってもその自信を維持していることによるものと推察されます。
- ④ 4年生は「専門教育演習科目・ワークショップ科目」について、実力がついたと回答する学生の割合が前年度より大きく増加しました。また、「キャリア形成科目・インターンシップ科目」についても、直近5年で最も高い割合となりました。

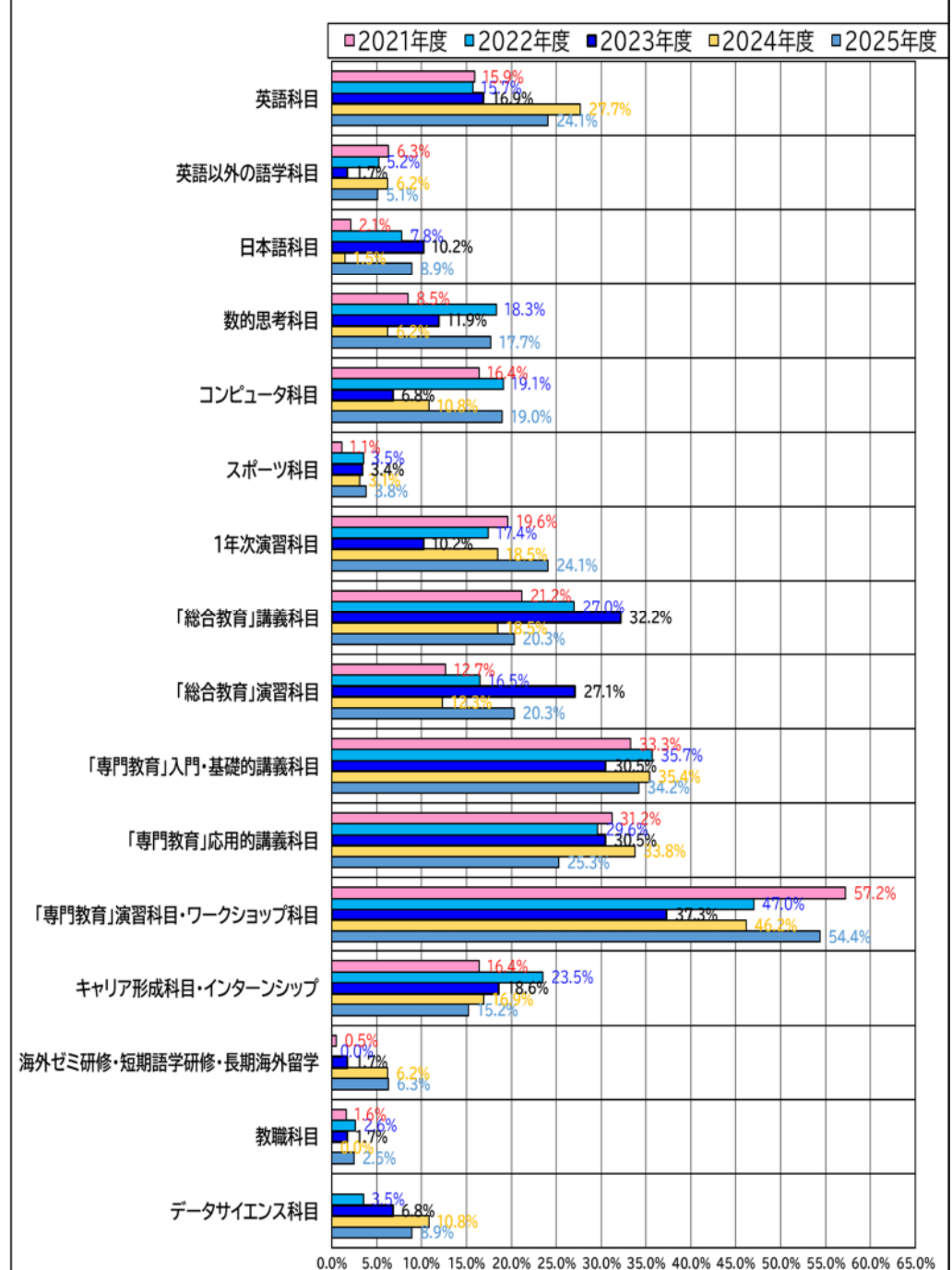
「実力がついたと思う科目群」(1年生)



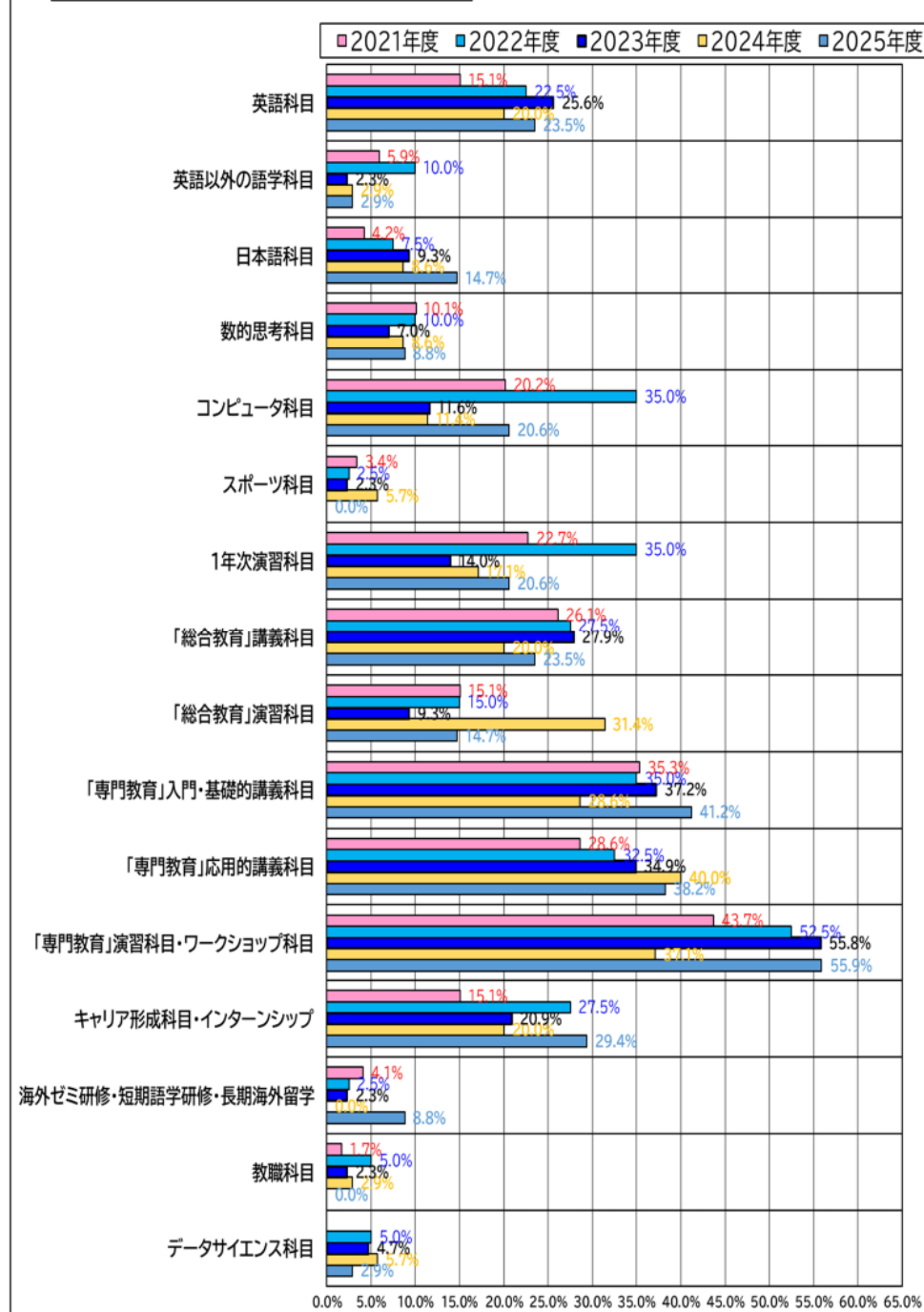
「実力がついたと思う科目群」(2年生)



「実力がついたと思う科目群」(3年生)



「実力がついたと思う科目群」(4年生)



3)学修成果・到達度自己評価

IR 推進委員会では「全学のディプロマ・ポリシーの理解度とその4項目の修得度」に対する「学生自身の到達度評価」を継続して調査してきました。みなさん一人ひとりが自らの学びの成果(学修成果)として身につけた資質や能力を自己評価し、学修目標の達成状況を可視化されたエビデンスとともに自ら説明できることが求められています。

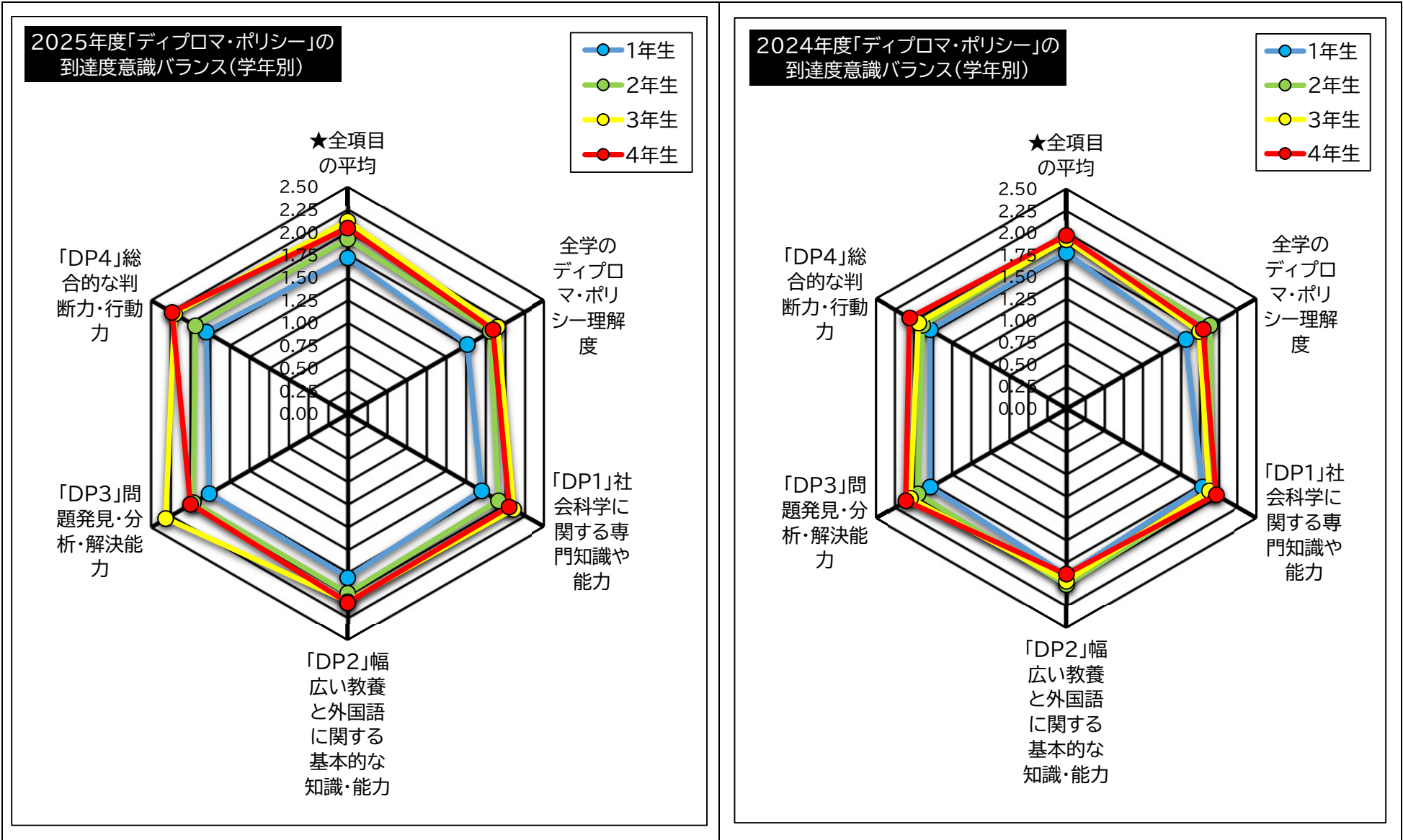
全学 DP 理解度は、「よく理解している=3点」、「ある程度理解している=2点」、「知ってはいるがほとんど理解していない=1点」、「見たことはない・知らない=0点」として数値化し、その平均値を求め、全学 DP4 項目は、「よく身についた=3点」、「ある程度身についた=2点」、「あまり身につけていない=1点」、「ほとんど身につけていない=0点」としました。

① 昨年度との比較
「全学 DP 全体の理解度」については昨年度より減少しました。一方、「DP4 上記の知識・能力に裏付けられた総合的な判断力と行動力」については、昨年度よりやや増加しました。それ以外の項目については、ほぼ昨年同様の水準となりました。

② 全体の傾向
全学 DP1～DP4は2021年度に設問をわかりやすく表現し直したところ、すべての項目で自己評価が高まりました。学年別に見ると上級生になるほど自己評価のポイントが高くなる傾向にあります。

	身についたと思う資質・能力	2021年度 全体平均値	2022年度 全体平均値	2023年度 全体平均値	2024年度 全体平均値	2025年度 全体平均値	前年度比
全学 DP	「全学 DP」全体の理解度	1.54	1.56	1.59	1.84	1.68	-0.16
	DP1 社会科学に関する専門知識・能力	1.70	1.78	1.79	1.85	1.85	±0.00
	DP2 幅広い教養と外国語に関する基本的な知識・能力	1.76	1.95	1.89	1.93	1.92	-0.01
	DP3 現代社会における諸問題あるいはさまざまな学術研究分野における諸問題を発見・分析・解決する実践的な知識・能力（実践的知力）	1.84	1.93	1.85	1.89	1.92	+0.03
	DP4 上記の知識・能力に裏付けられた総合的な判断力と行動力（進一層）	1.75	1.86	1.79	1.86	1.93	+0.07
5 項目の平均値		1.72	1.82	1.78	1.87	1.86	-0.01

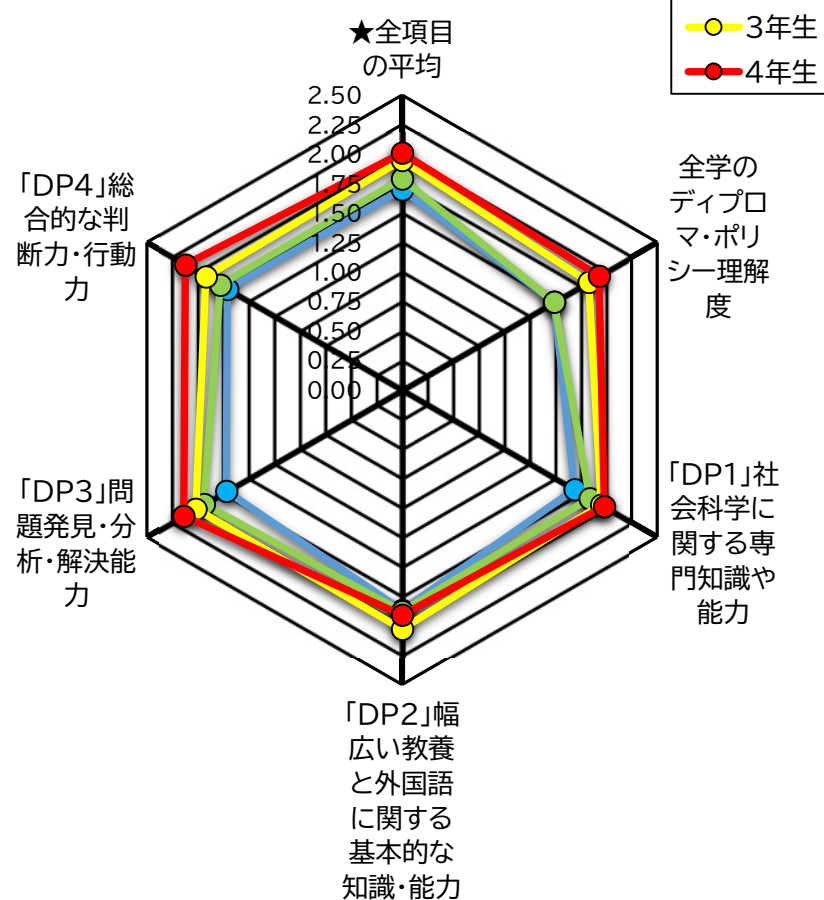
*年度ごとの全項目平均値を上回る項目は、赤の網掛け、下回る項目は青の網掛け



2025年度	★全項目の平均	全学の DP 理解度	DP1	DP2	DP3	DP4
1年生	1.72	1.53	1.71	1.81	1.76	1.80
2年生	1.93	1.82	1.92	1.98	1.97	1.94
3年生	2.12	1.91	2.11	2.08	2.32	2.20
4年生	2.05	1.85	2.06	2.09	2.00	2.24

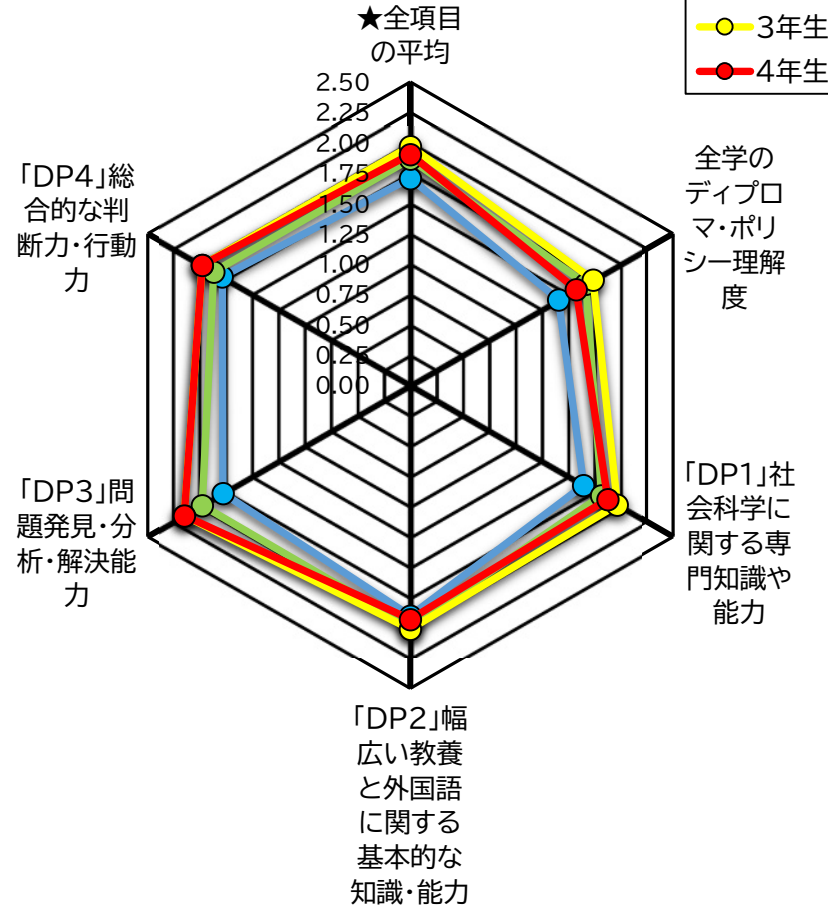
2024年度	★全項目の平均	全学の DP 理解度	DP1	DP2	DP3	DP4
1年生	1.77	1.57	1.79	1.90	1.79	1.79
2年生	1.93	1.89	1.93	2.01	1.95	1.89
3年生	1.92	1.75	1.88	1.97	2.05	1.94
4年生	1.97	1.80	1.97	1.89	2.11	2.06

2023年度「ディプロマ・ポリシー」の到達度意識バランス(学年別)



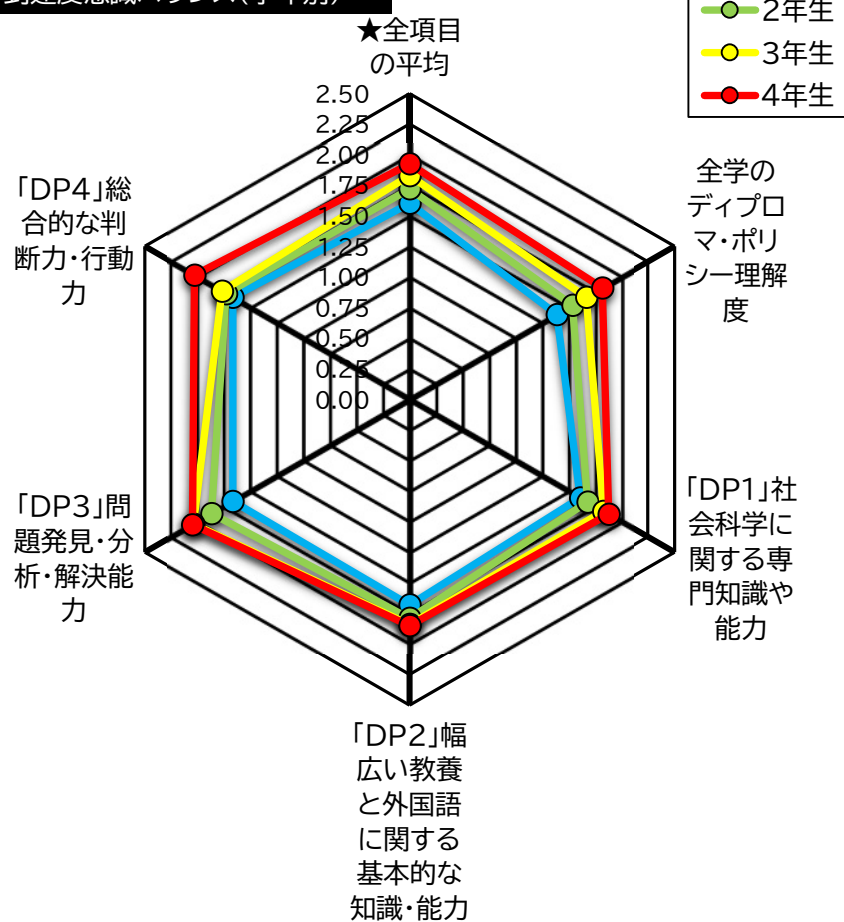
2023年度	★全項目の平均	全学のDP理解度	DP1	DP2	DP3	DP4
1年生	1.70	1.49	1.69	1.87	1.72	1.71
2年生	1.79	1.49	1.84	1.88	1.94	1.78
3年生	1.95	1.83	1.95	2.03	2.02	1.92
4年生	2.01	1.93	1.98	1.91	2.14	2.12

2022年度「ディプロマ・ポリシー」の到達度意識バランス(学年別)



2022年度	★全項目の平均	全学のDP理解度	DP1	DP2	DP3	DP4
1年生	1.71	1.41	1.65	1.90	1.78	1.79
2年生	1.87	1.67	1.82	1.99	1.98	1.87
3年生	1.97	1.74	1.97	2.01	2.15	1.98
4年生	1.90	1.58	1.88	1.93	2.15	1.98

2021年度「ディプロマ・ポリシー」の到達度意識バランス(学年別)



2021年度	★全項目の平均	全学のDP理解度	DP1	DP2	DP3	DP4
1年生	1.60	1.39	1.61	1.68	1.67	1.67
2年生	1.72	1.54	1.68	1.79	1.87	1.73
3年生	1.83	1.67	1.83	1.84	2.04	1.77
4年生	1.93	1.82	1.88	1.85	2.05	2.03

以上